

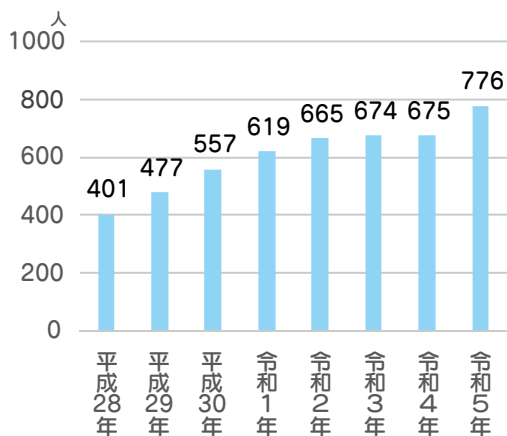
多文化共生 レインボー+

「サラダボールCo.」「Cerejaカフェ」「愛知華人華僑国際交流会」
「あいうえ Oguchi」「もやい」「まちなっと大口」

多文化共生レインボーとは？

大口町で多文化共生や国際交流に関わる事業をおこなっている団体が集まって結成しています

私たちが住むこのまちには、さまざまな人たちが暮らしています。それぞれの国籍・文化・習慣や価値観もさまざまです。それらを認め、尊重しあい、同じ地域の住人として、共に安心して暮らしていける社会。それが「多文化共生社会」です。令和6年4月現在、大口町には868人、市民の3.6%（およそ28人に1人）の外国籍住民が暮らししており、その数は年々増加しています。お互いを尊重し、支え合いながら、暮らししていくことが大切です。



TOPIX

大口町で暮らす外国籍住民の推移

大口町の外国籍住民の状況知っていますか

平成28年と比較すると現在は約2倍の外国籍の方が大口町に在住しています。それに伴い、外国籍の子どもも平成28年と比較して2.5倍に増加しています。加えて、日本国籍であっても両親のどちらかが外国籍であるなど、外国とつながりを持つ子どもも増加傾向にあります。

どんな国から来ているのでしょうか

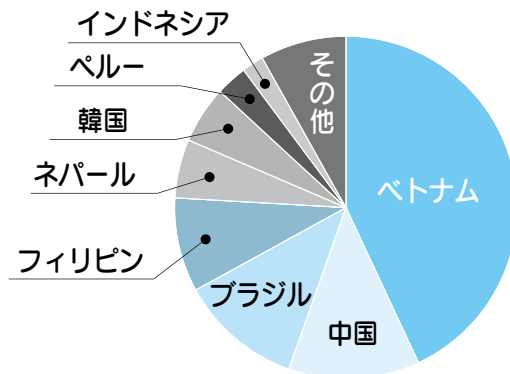
大口町の外国籍住民を国籍別に見ると、最も多いのはベトナムの334人で、全体の43%を占めています。次に多いのは、中国の96人で12.3%、ブラジルの90人で11.6%です。
(令和5年3月31日時点)

どんな在留資格を持って日本に来ているのでしょうか

- 1位 永住者
- 2位 特定技能1号
- 3位 技能実習2号口
- 4位 技術・人文知識・国際業務
(令和5年12月31日時点)



大口町に住む外国人の在留資格の内訳は永住者が196人と一番多く、次に人手不足の業界を助けるために2019年に国が新設した在留資格の特定技能1号が116人となっています。令和5年の入管法等の改正により特定技能の在留資格を持つ外国籍住民はますます増えることが予想されます。



こどもの日本語・学習サポート教室
あいうえ Oguchi



毎週木曜日の授業後に白山ふれあいの森で、年長から中学3年生まで学年も違えばルールも違う子どもたちが、学校の宿題やドリルをすることで日本語の学習、遊びを通じて友だちとの関係づくりを学びます。

今年度は不定期に土日の活動も予定。他団体と協力して子どもだけでなく保護者や家族も学べる居場所づくりを目指しています。

サラダボールCo.



大口子どもカレッジを開催し、実験講座やクッキング講座を通して生活を科学し、参加者同士の相互理解を深めることで子どもたちの未来に生きる力を育む活動をおこなっています。今年も開催しますので参加をお待ちしています。

その他、令和5年度にエコキャップ運動で世界の子どもたちに累計で652人分のワケチンを寄付しました。

多文化共生レインボー参加団体の取り組み

NPO法人まちなっと大口



大口町民活動センターを中心とし、NPO団体のサポートや多文化共生に関する事業をCerejaカフェを拠点として行っています。多文化共生レインボーの皆さんと、外国の方と交流したり、仲良くなれる事業や講座を開催していきますので、みなさんどうぞご参加ください。地域団体や企業との連携企画も大歓迎です！

日本語教室 Cereja カフェ



今年度も「ふれあいまつり」や他事業への参加で、多くの人に日本語教室をもっと知ってもらい、ボランティアと学習者が増えていくとよいと思っています。日本文化、外国文化などを互いに学べる時間をつくって、交流を深めていきたいです。

ボランティアは、誰でも気軽に参加できますので、興味のある方は一度、土曜日の午後6時に体験しにきてください。

愛知華人華僑国際交流会



2015年に発足し、日中友好の懸け橋の役割を果たすため、文化交流の活動をおこなっています。中国の伝統文化である書画や中国料理の得意なメンバーが在籍。ふれあいまつりに出展しています。今後も、大口町を中心に活動していきます。

もやい

大口町海外派遣事業経験者のうち、有志のメンバーが参加しています。大口町海外派遣事業参加者のサポートに加え、国際交流や被災地復興支援に関する活動を行ってきました。町内事業に参加することでまちづくりへの興味関心を高め、未来の大口町の若い力の育成を目指しています。

まちの仲間インタビュー



スリハルサントさん
インドネシア出身 大口町在住

Q 大口町に住んでどれくらいですか。

A 19年です。

Q 印象的な出来事がありますか。

A 区の運営委員になった時に、それまで関わりのなかった区の人たちと知り合いになれたことです。

Q 大口町で困ったことはありますか。

A 交通の便が悪いことです。

Q おすすめのインドネシア料理は？

A インドネシアの伝統的な料理「ソトアヤム」(チキンスープ)がオススメです。日本にも素が売っています。

が、僕のお母さんが作るソトアヤムが世界で一番おいしいです。



グエンティミーズエンさん
ベトナム出身 大口町在勤

Q 日本にきたきっかけは？

A 留学のために日本にきました。日本にいる従兄弟に「日本に来れば勉強とアルバイトが両方できる」といわれたからです。

学校での勉強だけではなく、仕事などたくさん経験を積むことができました。

Q 日本語教室 Careja (カレンジャ) カフェにぎてよかったことは？

A 先生たちがすごく優しいです。日本語だけではなく、生活面でもなんでも相談できるのでよかったです。各国の方たちと交流もできます。

Q これから頑張りたいことは？

A 今、機械を販売している会社で働いています。仕事で、お客様とコミュニケーションできるように、日本語と機械の知識の習得を頑張りたいと思います。

昨年の桜並木健康ジョギング

Q ベトナムの名物料理は？

A フンボーフエはベトナムの中部のフエ発祥の汁麺料理です。赤いスープが特徴の汁麺料理で、辛味と酸味が強いスープに太めの米粉麺(フン)、牛肉や野菜などが入っています。



ボランティア募集

多文化交流や仲間づくりに関心のある方、ぜひ活動に参加しませんか。資格、経験は問いません。

こどもの日本語・学習サポート教室

● あいうえ Oguchi

開催日 毎週木曜日 午後3時30分

から5時30分 土日不定期開催

場所 白山ふれあいの森 会議室

問合せ先

☎ 090-5809-5199

木曜午後2時30分から5時30分

● 日本語教室 Careja カフェ

開催日 毎週土曜日 午後6時から

7時30分

場所 ほほえみプラザ2階

町民活動センター

問合せ先 まちなつと大口

☎ 22-6642